

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 29日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者 森永製菓株式会社

住 所 東京都港区芝5-33-1

氏 名 代表取締役社長 太田 栄二郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-3456-0150

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

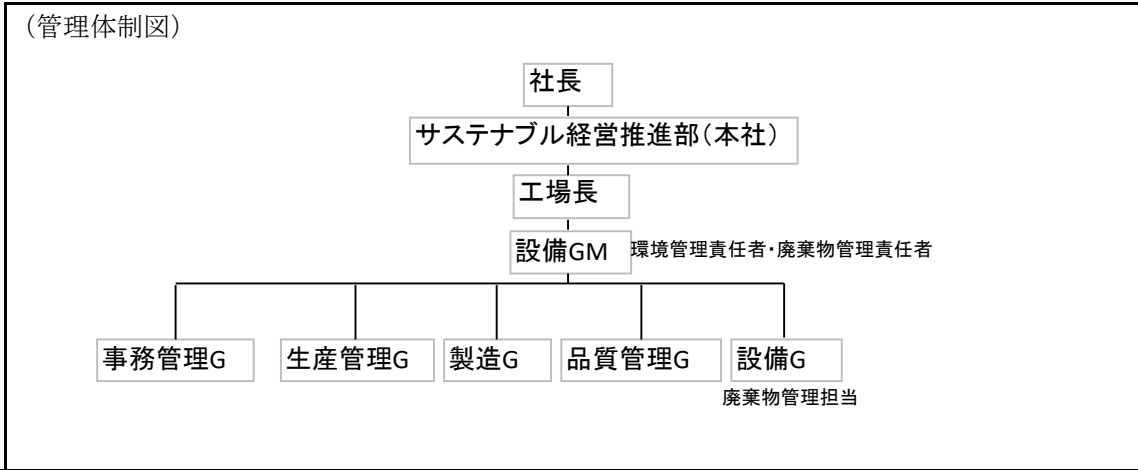
事業場の名称	森永製菓株式会社 三島工場
事業場の所在地	静岡県三島市南二日町11-50
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業（食料品製造業）
② 事業の規模	4,329百万円
③ 従業員数	112名（正社員78名 それ以外の職員34名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類→委託処分（RPF） 汚泥→自己中間処理（脱水）→自己中間処理残さ→委託処分（サーマルリサイクル） 汚泥（清掃）→委託処分（脱水） 廃油→委託処分（精製） 金属くず→委託処分（破碎・選別圧縮） ガラス・コンクリ・陶磁器くず→委託処分（破碎・選別圧縮） 動植物性残さ→委託処分（メタン発酵） 廃アルカリ→委託処分（中和） 腐食性廃酸→委託処分（中和） 引火性廃油→委託処分（サーマルリサイクル）

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず：廃棄物として処理できるものと有価物として売却できるものを分別し、廃棄量を減らしている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず：今後も上記内容を徹底し廃棄量の削減に努める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用は行う計画はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2323.56	t
(これまでに実施した取組) 日常点検により設備の管理を日々実施			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2100	t
(今後実施する予定の取組) 排水処理場の管理を見直し汚泥の引抜量自体を減らす取組を計画。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまで、自社で埋立処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引続き埋立処分又は海洋投入処分を実施する計画はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 有価物以外の各廃棄物についてはできるだけ優良認定処理業者へ委託するようにしている。また食品リサイクル対象物は全量食品リサイクル適法処理の業者へ委託している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 動植物性残さ：優良認定業者への委託量を増やす計画である。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

◆産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現 状	【前年度(令和3年度)の実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類			汚泥			廃油			金属くず			
	排出量	66.2	t	71.35	t	0.407	t	14.96	t					
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ			廃アルカリ			腐食性廃酸			引火性廃油			
	排出量	84.07	t	0.0005	t	0.001	t	0.380	t					
	産業廃棄物の種類													
	排出量		t		t		t		t					
	(これまでに実施した取組)													
	動植物性残さ：製造ラインの稼働率改善により製造量当たりの廃棄物量を削減する取組を実施 廃プラスチック類：製造ラインの稼働率改善により製造量当たりの材料ロス削減する取組を実施													
	② 計 画	【目標】												
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類			汚泥			廃油			金属くず			
排出量		65.6	t	70.64	t	0.403	t	14.81	t					
産業廃棄物の種類		動植物性残さ			廃アルカリ			腐食性廃酸			引火性廃油			
排出量		83.23	t	0.0	t	0.0	t	0.376	t					
産業廃棄物の種類														
排出量					t		t		t					
(今後実施する予定の取組)														
動植物性残さ：引続き製造ラインの稼働率改善によりロス削減する取組を実施 廃プラスチック類：引続き製造ラインの稼働率改善により材料ロス削減する取組を実施														

◆産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現 状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	金属くず
	全処理委託量	66.2 t	71.4 t	0.4 t	14.96 t
	優良認定処理業者への処理委託量	66.2 t	70.84 t	t	0.59 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	70.84 t	t	t
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃アルカリ	腐食性廃酸	引火性廃油
	全処理委託量	84.07 t	0.0005 t	0.001 t	0.38 t
	優良認定処理業者への処理委託量	14.56 t	0.0005 t	0.001 t	0.38 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	0.0005 t	0.001 t	t	
② 計 画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	金属くず
	全処理委託量	65.6 t	70.6 t	0.4 t	14.81 t
	優良認定処理業者への処理委託量	65.6 t	69.9 t	t	2.0 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	69.9 t	t	t
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃アルカリ	腐食性廃酸	引火性廃油
	全処理委託量	83.23 t	0.0 t	0.0 t	0.376 t
	優良認定処理業者への処理委託量	25 t	0.0 t	0.0 t	0.376 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	0.376 t	